Satellite Office サテライトオフィス

町には３棟の「サテライトオフィス」があります。情報通信技術を活用した柔軟な働き方の一つで、企業の本社や本拠地から離れた小規模事務所です。

平成29年度までに、週単位でも利用可能な「お試しサテライトオフィス」（新町、２棟）と、１棟を複数で共有する「シェアサテライトオフィス」（上厚真）を整備しました。新たな人の流れを生み、起業化などを支援しています。今回は、シェアサテライトオフィスの利用者の声を紹介します。

千文舎
斉藤（さいとう） 千佳（ちか）さん（40歳）

コンテンツライターと呼ばれ、キャラクターのセリフを創作し、商品の紹介や地域情報誌への執筆など編集の仕事をしています。

札幌市出身で、高校教諭から編集系の民間企業に転職し、平成29年１月に白老町で自宅兼事務所を構えて独立しました。ですが、事務所兼用だと、公私の切り替えが難しくて。職住分離のため、昨年11月にむかわ町に引っ越すのと同時に車通勤できる「シェアサテライトオフィス」の利用を決めました。

デスクスペースを借りて、週５日出勤しています。仕事の依頼主と、メールや電話で連絡を取り、原稿を書いています。

静かな環境の中で、仕事に集中できるのが魅力で、充実しています。町民の皆さんと、なかなか接点はありませんが、職場環境を提供していただいている皆さんには、感謝しています。

製造業を中心に監視カメラシステムや自動化のロボットシステムなどを提供するエレクトロニクス技術商社で、東京本社兼北海道地区の営業を担当しています。

山口県下関市出身で、大学卒業後に就職しました。振り出しの九州支店（北九州市）から東京本社に異動し、北海道に出張していました。苫小牧市や室蘭市を中心に顧客が拡大し、営業拠点としてサテライトオフィスを利用することになりました。民間の事務所より賃料が安く、新千歳空港や取引先に近いこと、インターネット環境が整っていたのが決め手です。昨年11月に契約しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、３月以降は在宅勤務が続いています。いつ、利用が再開できるのか分かりません。滞在は、いつも短時間ですが、機会があれば厚真町のイベントなどにも参加させていただき、地域とも交流したいと思っています。

株式会社カナデン（東京都）
森田（もりた） 啓資（ひろし）さん（36歳）

株式会社hope for
三浦（みうら） 卓也（たくや）さん（44歳）

神戸市の大手通販会社に勤めながら、投資などを行う「hope for（ホープ フォー）」を運営しています。

この春、地域おこし企業人の３年の任期を終えました。家財道具を残して一度、神戸市に戻り、北海道と新たな事業を立ち上げる予定でした。新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛になり、神戸の自宅で、リモートワーク漬けでした。

やっと厚真町に戻ったのは、約２カ月ぶりの６月17日。あいさつ回りをした時、皆さんに「お帰り」って声を掛けられました。張りつめていた心が和らぎ、改めて厚真町は心を整える大切な場所だと再認識しました。

住宅の新築や改修工事などを見て、この２カ月で再建が進んでいると実感しました。月に１度ぐらいは事務所に顔を出し、今後も町に貢献したいと思っています。

女性専用のフィットネスクラブや介護支援事業などに取り組む会社に勤め、新たな地域活性化事業として農業分野の「株式会社あつマッシュ」を立ち上げました。霊芝栽培を通じながら、胆振東部地震の復興に向けた地域の課題にも取り組み、雇用の創出や交流人口の拡大につなげたいと考えています。

平成７年１月の阪神淡路大震災の経験しました。同じ被災者という思いで、復興の役に立ちたいと地域おこし企業人を希望しました。

大型連休明けに移り住み、朝日地区に畑を借りて、試験栽培を始めました。自然が豊かで、親切な人が多く、みなさんに感謝しています。また、サテライトオフィスでは、本社の事務仕事もこなしています。1カ月のうち、半分農業で半分は事務仕事という感じでしょうか。日々、楽しく過ごしています。時間はかかりますが、少しでも地域の役に立ちたいと思っています。

株式会社あつマッシュ
田中（たなか） 正己（まさみ）さん（50歳）

町政懇談会

昨年11月から今年2月にかけて、町民の皆さんの声を生でお聞きする「町政懇談会」を開催しました。団体や自治会など9カ所で町長をはじめ町職員と意見交換を行いました。また、懇談会を開催していない5自治会からも書面で意見が提出されています。各会場や書面で出された意見、要望事項を紹介します。

意…団体・自治会の意見　答…町の回答

軽舞自治会での町政懇談会の様子

被災した集会所・生活会館について　富里・高丘自治会

意 被災した集会所や生活会館の再建はどのように行うのか。

答 北部3地区（富里・高丘・吉野）で共用できる1次避難所の機能を備えた集会施設の整備について、地域間の合意が得られたことから建設の準備を進行中です。建設場所は、富里地区の高台を予定し、できる限り早い時期の完成に向け準備を進めていきます。

仮設住宅の今後について　高丘自治会

意 応急仮設住宅の入居期限が迫っているが、入居者の恒久的住宅確保についての見通しは。

答 応急仮設住宅の入居期間の期限までに災害公営住宅、公営住宅などを建設し、また、既存の町営住宅の活用を図り、自力による住宅再建が困難な方々が、恒久的な住まいを確保できるよう最善を尽くします。定期的に「住まいの再建相談会」を開催し、住宅再建についての対応を実施しています。また、北部地域においては、「集落支援員」を配置し、被災者個々の状況を把握し、きめ細かな対応ができるよう体制整備を行っています。

地域公共交通について　ルーラル自治会

意 地域公共交通（めぐるくんやタクシーなど）が非常に不便である。対策してほしい。

答 地域公共交通ネットワークの再編、充実を図ることを目的に、来年度に地域公共交通計画の策定を予定しています。今年度は、住民ニーズや課題を把握するため、住民アンケートや聞き取り調査などを実施します。また、新たな交通サービスの導入に向け、交通事業者との協議を開始します。

太陽光発電施設について　ルーラル自治会

意 ルーラル地区の宅地に突然、太陽光発電施設が建設されましたが、町としてはどのように考えているのか。また、今後どのように対応するのか。ルーラル・フォーラム発電所になってはしまわないか心配だ。

答 ルーラル・フォーラム地区は、自然の中の住宅地として造成した経緯があり、今後も良好な住環境を保全していく考えでいますが、現行の法令、条例、地区計画等では、太陽光発電施設の建設を規制できないため、新たなルールを策定し、この中で両地区を規制する予定です。それ以外の地域は、再生可能エネルギーの推進という情勢の流れと逆行しないように考えています。

ゴミステーションの増設について　上厚真自治会

意 上厚真きらりタウンは、子育て世帯が多いので、おむつゴミが大量にある。ゴミ箱増設かおむつ専用の入れ物がほしい。

答 今年度は、公営住宅の建設に伴い上厚真きらりタウン内に1基増設します。また、自治会でゴミステーションの増設は可能です。設置経費は自治会負担で、町が2分の1を補助します。住民課町民生活グループまで、ご相談ください。

街灯・防犯灯の設置について　上厚真・共和自治会

意 通学路や生活路で暗い場所がある。子どもや高齢者への安全対策のために街灯・防犯灯を設置してほしい。

答 要望いただいた場所は確認し、防犯灯を設置しています。ほかに、暗い部分があり設置が必要な場所があれば、現状の確認を進め設置について検討します。

旧軽舞小学校の利用状況と今後の活用方法について　軽舞自治会

意 旧軽舞小学校の利用状況と今後の活用方法は。

答 旧軽舞小学校の校舎は、平成24年から遺跡調査整理事務所として町教育委員会が管理し、翌年からは郷土資料の保管・展示も行っています。触って体験できる資料館として来館者も年々増加しており、平成30年度は延べ700人ほどの利用がありました。町外からの視察も多く、今後も町ならではの歴史や文化を後世に伝える拠点施設の一つとして、さらなる充実を図ってまいります。